

郡山掃除に学ぶ会 (福島県郡山市)



2013年、ヨークベニマル、ライフフーズ、エスピー商会の三社は、清掃活動を通して謙虚さ、感謝の心などを学ぶ「郡山掃除に学ぶ会」を発足させました。これは、イエローハット創業者の鍵山秀三郎氏が創設した「日本を美しくする会」の志に賛同した活動です。定期的な活動として、月1回会員企業が集まり、JR郡山駅前(福島県郡山市)の清掃を実施しています。

2020年2月、郡山掃除に学ぶ会は、地域の美化活動を行うことにより、安全に安心して暮らすことができるまちづくりの推進に寄与したとのことで、郡山市から表彰を受けました。

郡山市元気な遊びのひろば ペップキッズこおりやま



入館300万人達成セレモニー



ヨークベニマルが支援しております“ペップキッズこおりやま(福島県郡山市)”は、子どもたちが思いきりからだを動かして遊ぶことのできる屋内施設として、2011年12月にオープンしました。それ以降、子どもをもつ保護者の方々のご支持をいただきながら、順調に来場者数を伸ばし、2014年のリニューアルオープンを経て、2024年には、来場者数300万人を達成しました。

今後とも、たくさんの来場者に楽しんでいただけるよう、ヨークベニマルとしても支援を継続してまいります。

子ども食堂への寄附



物価高騰の影響を受けている子育て家庭を支援するため、出店エリア各県を通して、子ども食堂へ食品の寄贈を実施いたしております。

ネーミングライツの取得



■ヨーク開成山スタジアム(福島県郡山市)

ヨークベニマルは、郡山市広告事業審査委員会の審査結果に基づき、開成山野球場(福島県郡山市)のネーミングライツ・スポンサーに決定いたしました。

2027年3月31日までの期間、開成山野球場の愛称は「ヨーク開成山スタジアム」になります。



■ヨークいわきスタジアム(福島県いわき市)

ヨークベニマルは、いわきグリーンスタジアムのネーミングライツを取得しました。

2028年9月30日までの期間、いわきグリーンスタジアムの愛称は「ヨークいわきスタジアム」になります。

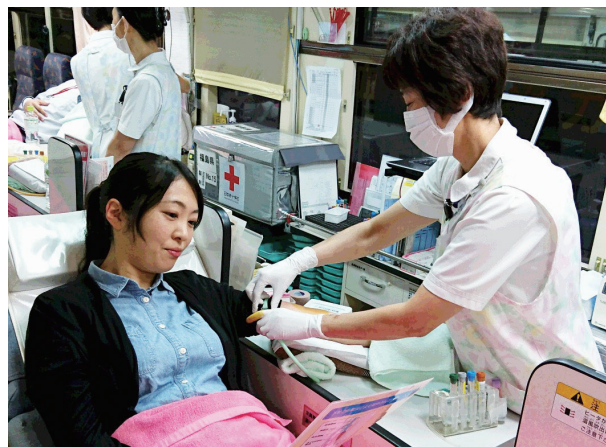
フードドライブ

家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク、生活困窮者支援団体、子ども食堂等に寄付する活動、フードドライブを2023年5月よりスタートいたしました。(2025年10月末現在、全店舗で実施)



献血運動

全国的にも、輸血用血液が不足していた1990年に、地域の皆さまのお役に立ちたいと「献血推進実行委員会」を設立し、第1回ハートフルサタデー献血イベントを開催いたしました。ヨークベニマルとヨークベニマル労働組合は、行政の後援を受け、福島県内のお取引先さまを中心に実施しているハートフルサタデーの事務局となっています。毎年10月にビッグパレットふくしまで開催しているハートフルサタデーは2024年に35回目を実施し(401名献血)、第1回目~35回目までの協力者数も15,111名となりました。





ヨークベニマルの食育活動

ヨークベニマルは、「お客様に健康的で豊かな食生活を送っていただきたい」「次世代を担う子どもたちに、食に興味を持ち、成長していただきたい」という想いから「食育活動」を推進しております。



ヨークベニマルの食育活動は
以下のURLでご覧いただけます。

<https://yorkbenimaru.com/5aday/index.html>

●2024年度に実施した食育活動

■出前食育

実施
回数

19回

参加
児童数

466名

放課後児童クラブや公民館などの施設、学校の教室・家庭科室などをお借りして、ヨークベニマルの担当者が現地に出向いて、食品の栄養やバランスの良い食事について授業を行います。食育だけでなく、ヨークベニマル店舗の開店前のお仕事について学ぶ動画視聴や、店舗と会場をオンラインでつないで、お子さまの質問に店舗の店長がお答えする「店長に質問してみよう！」などのプログラムも実施しています。

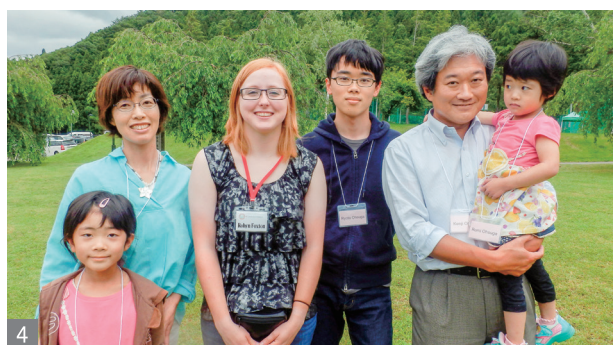


参加したお子さまより

野菜・果物の上手な摂り方を学ぶことができました

苦手な野菜も食べるようになりました

栄養についてよくわかった。おやつを食べすぎに注意します。



1 2 派遣生とホストファミリー 3 いわきにて 4 5 マニトバ学生とホストファミリー

公益財団法人

ヨークベニマル文化教育事業財団

公益財団法人ヨークベニマル文化教育事業財団は、ヨークベニマル創業者・大高善雄氏の『生涯を通じ、事業というものは大善のために貢献すべきであり、人材の育成こそ商業ならびに社会発展の鍵である』という信念を貫き通した遺志を継承し、真に国際性豊かな日本人の育成を願い、1985年（昭和60年）に設立されました。

毎年、福島県の高校生をアメリカ・カナダに派遣し、カナダではホームステイを経験する「アメリカ・カナダ海外研修派遣事業」と、隔年で、福島県の高校生がお世話になったご家庭のお子さんを日本に招待する「カナダ・マニトバ学生招待交流事業」という国際交流に主軸を置いた二つの事業を行っております。また、東日本大震災以降は、児童の健全な成長のための支援・助成事業および食育事業にも取り組んでおり、「郡山市元気な遊びのひろば ペップキッズ こおりやま」の支援を継続して行っているほか、各種セミナーや講演会なども開催いたしました。

主なセミナーや講演会

● 育児支援・食育セミナー

日程：2024年12月21日
講師：菊池 節子氏
「ミニおせちを作って学ぼう！」
会場：ペップキッズこおりやま
（ペップキッチン）

● 食育セミナー

日程：2024年10月27日
講師：大塚 真子氏
ワークショップ：食べもののお話
会場：ペップキッズこおりやま

■ アメリカ・カナダ海外研修派遣事業

福島県の高校生がアメリカで語学研修を受けて、カナダでホームステイを経験します。

派遣回数 **33回** 延べ人数 **760名**

■ カナダ・マニトバ学生招待交流事業

福島県の高校生がお世話になったカナダのご家庭のお子さんを日本に招待します。

招待回数 **16回** 延べ人数 **200名**



公益財団法人ヨークベニマル文化教育事業財団の活動は

以下のURLでご覧いただけます。

<http://www.ybfoundation.or.jp/>

災害時協定などの締結

地域の皆さまに対する支援という観点から、災害時における地域のライフラインを担う小売業としての役割を果たすべく、ヨークベニマルは、56の県・市・町と災害など発生時における物資の供給協力などに関する支援協力協定を締結しています(2025年10月現在)。



郡山市との災害協定締結式(2024年3月28日)

支援協力協定を締結している行政

【福島県】

- ・福島県
- ・いわき市
- ・会津若松市
- ・郡山市
- ・須賀川市
- ・田村市
- ・本宮市
- ・富岡町
- ・福島市
- ・南相馬市
- ・矢吹町
- ・小野町
- ・白河市
- ・喜多方市
- ・棚倉町

【宮城県】

- ・宮城県
- ・大崎市
- ・塩竈市
- ・登米市
- ・加美町
- ・栗原市
- ・白石市
- ・仙台市
- ・多賀城市
- ・美里町
- ・岩沼市
- ・東松島市
- ・石巻市
- ・名取市
- ・涌谷町
- ・亘理町

【山形県】

- ・山形県
- ・東根市
- ・山形市
- ・寒河江市
- ・南陽市
- ・河北町
- ・米沢市

【茨城県】

- ・茨城県
- ・ひたちなか市
- ・結城市
- ・北茨城市
- ・水戸市
- ・日立市
- ・筑西市
- ・守谷市
- ・牛久市
- ・常陸太田市

【栃木県】

- ・栃木県
- ・大田原市
- ・佐野市
- ・足利市
- ・那須塩原市
- ・鹿沼市
- ・宇都宮市
- ・小山市

「いばらきの地魚プロジェクト」への参画

「いばらきの地魚プロジェクト」とは、茨城県産の魚介類(いばらきの地魚)の消費拡大や認知度向上に取り組む『いばらきの地魚取扱店認証委員会』、『ヨークベニマル(いばらきの地魚取扱店)』、『常磐大学』の3者が連携し、「若者の魚離れ問題」を解決するためにつくられた産学官共同のプロジェクトです。茨城県の地魚の認知度アップと普及、「若者の魚離れ」という課題を解決するために、その3者が手を組み、商品開発をいたしました。常磐大学人間科学部健康栄養学科の学生さんが商品開発にも協力していただき、2021年6月より、茨城県を代表する「サバ」を使用した「IBARAKI SABA CURRY」「IBARAKI SABA TOMATO」を茨城県内店舗にて販売しております。今後とも、地域の活性化や生産者の皆さまを支援してまいります。



仙台白百合女子大学×ヨークベニマル 共同開発商品の販売

普段から魚を召し上がらない若年層の方や、魚が苦手な方にもおすすめができるよう、仙台白百合女子大学の健康栄養学科の学生さんがレシピを考案し共同開発した「いわしボール」「勝つおフレーク」を宮城県・山形県内店舗にて販売しております。今後も、地域の食材を取り入れた商品をお客様の食卓にお届けし、それが地域の活性化につながり、ひいては生産者の皆さまを応援できるよう、努めてまいります。



「いわしボール」「勝つおフレーク」

●デリバリーサービス「Uber Eats」

ご注文から30分程度で商品をお届けするデリバリーサービス「Uber Eats」を、一部店舗で実施しております。Uber Eatsのアプリからヨークベニマルの商品をご注文いただけます。お客様のお買い物時間の短縮、外出することができない時、今いる場所に必要な食料品や日用品がお手元にすぐお届けできる便利なサービスです。

※「Uber Eats」実施店舗(2025年10月末現在)：

ヨークベニマル今泉店(栃木県宇都宮市)、ヨークベニマル宇都宮テラス店(栃木県宇都宮市)、
ヨークベニマル浜田店(福島県福島市)、ヨークベニマル遠見塚店(宮城県仙台市若林区)、
ヨークベニマルフォレオ東仙台店(宮城県仙台市宮城野区)、
ヨークベニマル仙台上杉店(宮城県仙台市青葉区)

Uber Eats

●スキャンカート導入

ヨークベニマルでは、一部店舗にAI機能を活用した「スキャンカート」を導入しています。商品バーコードをスキャンするタブレットや重量センサーを搭載したショッピングカートで、お客様自身が商品をスキャンしながらお買物をして、専用のセルフレジでお会計します。非対面で、買い物時間の短縮ができます。

※「スキャンカート」導入店舗(2025年10月末現在)：

ヨークベニマル片平店、日和田店、八山田店、
富久山店、桑野店、門田店、築瀬店、宇都宮テラス店、
つくば竹園店、市名坂店、石巻蛇田店、
小山ゆうえんち店、保原店、取手戸頭店、仙台上杉店、
上厚崎店、いわき平店、福島西店、伊達店、鹿沼店、
古河店、西ノ内店、ミライト一条店



●福島県「宅配ロッカー活用プロジェクト」への参画

ヨークベニマルは包括連携協定を締結している福島県と連携し「宅配ロッカー活用プロジェクト」に参画いたしました。宅配ロッカーを店舗に設置し、物流会社と連携することで自宅以外での荷物の受け取りが可能となり再配達の削減にもつながる取り組みです。

※「PUDO(プドー)ステーション」Packcity Japan株式会社様(本社：東京都千代田区)が設置する

宅配ロッカーの運用店舗(2025年10月末現在)：福島県内28店舗

※詳しくは、Webサイト「福島県地球温暖化対策ポータル」内

「みんなでアクション！宅配ロッカー活用プロジェクト」をご参照ください

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ontai/logistics2024.html>



宅配ロッカー活用プロジェクト記念セレモニー(2024年6月1日)



宅配ロッカー活用プロジェクトオリジナルデザイン